



民生委員・児童委員

第14号



# たが民児協だより



発行者 多賀町民生委員児童委員協議会  
事務局 「ふれあいの郷」内 福祉保健課  
TEL0749-48-8115 有線 2-2021

—いつもあなたのそばに・これからも地域のために—

さて、民生委員・児童委員・主任児童委員の任期が昨年11月末をもって満了になり、長年要職に就かれご指導、ご協力いただきました野村清嗣会長、また、城貝淳子副会長はじめ13名の方々が退任されました。

退任された皆様様の長年の活動に感謝申し上げますとともに今後も地域福祉活動にご



人権研修会 (5月10日)

## あなたの相談相手

民生委員児童委員はいつもそばにいます

多賀町民生委員児童委員協議会

会長 小財 豊 信

### 任期のはじめにあたり

3月11日(金)に発生しました三陸沖を震源とする東日本大震災により、亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された皆様、そのご家族の方々に對しまして、心よりお見舞い申し上げます。

一日も早い復旧復興をお祈り申し上げます。

- 『広げよう!地域に根ざした思いやり』行動宣言
- 1、安心して住み続けることができる地域社会づくりに貢献します
  - 2、地域社会での孤立・孤独をなくす運動を提案し行動します
  - 3、児童虐待や犯罪被害などから子どもを守る取り組みを進めます
  - 4、多くの福祉課題を抱える生活困難家族に粘り強く接し、地域社会とのつながり役を務めます
  - 5、日頃の活動を活かし、災害時に要援護者の安否確認を行います

地域のみんで 支えあい

## 新任委員の一言

**多賀担当 遠城 はつえ**  
民生児童委員をお引き受けし、先ず思った事は、少子高齢化といわれる今日、福祉活動・災害時安否確認・子育て相談等、山積された問題に戸惑いを覚えると同時に、私なりに誠意をもって取り組み、少しでも地域のため貢献させていただく所存です。どうぞよろしくお願ひします。

**多賀担当 大辻 美代子**  
定例会での研修や先輩委員の皆さんからの「話し合いながら、活動しましょう。」という温かい言葉に、勇気づけられ微力ながら、活動し始めたところです。  
「あしたも、笑顔と思いやり」を胸に、蒼い山々に囲まれ、元気に安心して暮らしていけるよう、地域の皆さんのお役に立てればと思っています。

**猿木担当 古川 晴司**  
地域内の一人暮らしの高齢者などへの訪問、安否確認、児童・生徒の見守り、福祉サービスの情報提供などが活動ですが、一言で言うのは大変難しいです。  
相談があったら、まずは話を聞き自分ができることを考えようと努めています。民生委員だけで

解決できることは少なく、行政等とのパイプ役も大切な役割で支援が途切れないようにと思います。

**敏満寺担当 山口 勲**  
昨年の12月の改選により勇退された委員の方々の後任の一人として厚生労働大臣から委嘱を受けましたが、何分浅学非才の私のこと、充分務まるものかと一抹の不安を抱きながらも5カ月が経過しました。誰もが安全で安心して暮らせるよう地域福祉の推進役として微力ながら行きたいと思っております。

**四手担当 植野 比登美**  
「広げよう地域に根ざした思いやり」の行動宣言をもとに、近年の急速に変化する社会情勢や福祉課題には時代に逆行することなく、偉ぶらず、温かい心配り、思いやりを大切に、住民の皆様と一緒に頑張って、住民の立場に立った活動をさせて頂きたいと思ひます。よろしくお願ひします。

**大岡・八重練担当 馬場 勝子**  
地域住民の繋がりが希薄になりがちな現代社会の中で、自分自身の健康を保って、社会活動に積極的に参加して、地域社会の実情を把握することに努め、全ての人が安心して住み慣れた地域で自分らしく生活ができ、笑顔あふれる明朗で、健康な町づくりに努めます。

**久徳担当 近藤 勇**  
昨年12月に厚生労働大臣から委嘱を受け、早や5カ月が経過しました。この間、定例会毎に研修を受け、民生児童委員の使命の重要性を痛感しました。今後は、地域住民がより豊かな生活を過ごせるよう人々の生活状態を把握し、少しでも心身の支えとなる努力をしてまいりますので、皆様方のご指導をよろしくお願ひいたします。

**中川原担当 野村 惣蔵**  
ふるさとに帰ってはきたが、すでに父母の姿はなく、懐かしいはずのふるさとに物足りなさを感じる。それは、私がいかに多賀の地に関わってこなかったかの証である。父や母を温かく見守ってください。感謝の心でわずかでも地域に恩返しをしていきたい。

**一ノ瀬 仏ヶ後担当 林喜久雄**  
私のような無知無力な者が民生委員をお受けする事になりました。一人でも多くの方が区民活動に参加していただけるように声をかけていきたいと思ひます。  
今後は、委員をはじめ区民の皆様にご迷惑をおかけすることになります。ご支援・ご協力をよろしくお願ひいたします。

**藤瀬担当 辰野 紀美子**  
東日本大震災から数カ月たち「無縁社会」と言われ始めた社会に

「縁・絆」の重要性を改めて思い起こさせました。そんな大事な時期に民生委員という重責を担う事となり、微力ながら皆様のお世話をすること「気付き」の中から大切な事を見つけたかと思ひます。どうぞよろしくお願ひいたします。

**萱原担当 久保田 里美**  
この度、民生委員をお受けすることとなり、責任の重大さを感じます。何分にも初めてで、委員をはじめ区民皆様のご意見を聞きながら、勉強していきたいと思ひます。よろしくお願ひします。

**佐目担当 東岸 良子**  
昨年12月お引き受けしたものの私にできるだろうか?不安な中スタートしました。高齢者世帯が大半を占める字の中で住み慣れた地域で安心して暮らしていただけのように、安否確認しながら訪問しています。ただただお役に立てるかかわりませんが、自分なりに頑張らせていただきます。

民生委員児童委員発 災害時一人も見逃さない運動

## 多賀町の民生委員児童委員・主任 児童委員を紹介します。

任期は平成25年11月30日まで

 南後谷 黒川 清子	 萱原 久保田 里美	 木曾・脇ヶ畑 蓮井 志津枝			
 大君ヶ畑 靈正 芳信	 大杉・樋田 山本 喜久代	 河内・靈仙 藤原 勇三	 久徳 小財 豊信	 猿木 古川 晴司	 多賀 火口 悠治
 主任児童委員(全域) 林 壽美子	 小原・霜ヶ原 辻田 四郎行	 藤原・後谷・向之倉・甲斐・水谷・榎原 森口 政二	 久徳 近藤 勇	 敏満寺 矢守 敏子	 多賀 小澤 禮子
 主任児童委員(全域) 米谷 ふみ子	 佐目 東岸 良子	 川相 森 清美	 月之木 小財 惣九郎	 敏満寺 山口 勲	 多賀 森 輝満
<b>組織(役員)</b>			 一ノ瀬・仏ヶ後 林 喜久雄	 栗栖 堂 美智子	 土田 平居 重次
障がい者福祉部会長 高年齢者福祉部会長 児童青少年部会長 監会 副会 事計 長長	小坂 居財 土居 正彦 小坂 居財 法正 彦信 敏九郎 四郎行 清美 輝満 美智子	小坂 居財 土居 正彦 小坂 居財 法正 彦信 敏九郎 四郎行 清美 輝満 美智子	 藤瀬 辰野 紀美子	 一円 土居 正彦	 四手 植野 比登美
	 富之尾・楢崎 坂上 法子	 中川原 野村 惣蔵	 大岡・八重練 馬場 勝子	 尼子 岸邊 次郎	

## 町長のひびく

昨年12月1日には、全国一斉に民生委員児童委員、主任児童委員の改選が行われ、多賀町におきましても厚生労働大臣より31名の民生委員児童委員、2名の主任児童委員の方々に委嘱状が伝達され、ご就任されました。皆さまにおかれましては、これからの3年間地域の住民福祉の向上のためご尽力たまりますよう、よろしくお願い申し上げます。

さて、東日本大震災から2カ月が経過しましたが、相変わらず広い範囲で続く余震や原発事故への不安など被災者を取り巻く環境は、依然として厳しい状況にあります。一日も早く復旧、復興することを願ってやみません。

震災直後から、被災地を含め、様々な分野で震災から立ち上がろうとする力強い動きに深く心を打たれ、いのちの尊さ、絆の大切さを改めて痛感しております。

地域みんなで助け合う、互助の精神による地域づくりを進めることが求められます。安心して暮らし続けることができるまちづくりに全力で取り組んでまいります。

最後に、多賀町民生委員児童委員協議会がますますのご発展と委員の皆さまのご健勝・ご活躍を心より祈念申し上げます。

多賀町長 久保 久良

## 子どもたちの笑顔

児童青少年部会 部長 森 清美

民生委員児童委員を受けさせて頂いて、3期目の春を迎え心新たに23年度がスタートしました。今でも十分な活動ができていませんが、人のぬくもりを感じ安心して暮らせる地域づくりを!!と、微力ながらも頑張っています。

今期も児童青少年部会に所属させて頂いています。活動内容は、まず6月に予定しています学校・幼稚園・保育園への訪問です。地域では見られない子どもたちの様子を見学させてもらっています。子どもたちを取りまく大きな問題には、私たちも研修会を重ね学習しています。就園前の子どもと保護者を対象とした年2回の『子育てサロン』では、お母さんたちの交流も深まり和やかな雰囲気が進められています。

また、赤ちゃんが生まれた家庭を訪問し、心ばかりのお祝カード・絵本をお贈りし関わりを持つように努めています。他にもスクールガードと併用して、小中学校児童・生徒が安心して登下校できるようにと、声かけ見守り事業も行なっています。まだまだ十分ではありません。大切な子どもたちです。地域のみならず子どもたちを見守り育てたいものです。今後ともお力添えよろしく願います。

## 近い将来を見据えて

高齢者福祉部会 部長 森 輝満

多賀町の人口は昨年に8千人を割り、3年後には3人に1人が高齢者となります。これは滋賀県内では1位の高齢化率となります。高齢者福祉部会では、高齢者問題について活動計画を策定し行動していきます。

- ◎災害時安否確認台帳の点検
- ◎安否確認台帳に基づくマップの確認を行う。
- ◎避難マニュアルの確認、各字の避難場所への誘導、緊急通報システムによる対応確認等
- ◎誕生日メッセージカードの活用
- ◎高齢者世帯を訪問しカードを手渡し日々の生活状況を確認
- ◎町内福祉会・サロンの見学と交流
- ◎振り込め詐欺、悪質訪問販売等のチラシ配布など

高齢になっても地域で安心して暮らして生活できるよう支援の活動を行っていきます。



## 笑顔あふれる地域をめざして

障がい者福祉部会 部長 堂 美智子

ある研修会で、耳の不自由な方々と交流を図る「手話サロン」に参加致しました。参加されていた方々はとても明るく、すぐに和やかな雰囲気となりました。

少しづつ色々な手話を教えていただいたのですが、「ありがたう」の手話の時にハッとしました。ただ手を動かすだけでなく、必ず思いっきりこやかな笑顔も添えて・・・と教えて下さったのです。なるほど、自分の思いは体中から発信する、人とのコミュニケーションをとる原点を思い出させて下さいました。

ある耳の不自由な方は、おっしゃいました。「聞こえない事は不便であつても決して不幸な事ではない」と。サロンに参加しておられた方々のように、生き生きと楽しく生活しておられる方がたくさんおられます。

私たち障がい者福祉部会では、あらゆる機会を通して障がいのある方々との交流を深め、すべての人が幸せに笑顔あふれる地域をめざして支援してまいります。どうぞよろしくご協力の程お願いいたします。